



冬のボーナスカットを許さないぞ！シリーズ⑦

社員は感染リスクに怯えながら 安全・安定輸送を担った！ ボーナス減額の理由はない！

会社は、協約改訂団体交渉の回答時の挨拶で「赤字決算になるなど過去に前例のない極めて厳しい局面を迎えている。今後も先を見通すことは難しく、一段と厳しい経営環境になることを覚悟する必要がある」と述べました。JR東海労は、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況にあることは否定しませんが、そのことを理由にボーナスの減額を含めた組合員・社員へのしわ寄せを絶対に許しません。

世間では、新型コロナウイルス感染リスクがある中、働いてくれる社員のために、臨時の手当を支給する会社もあります。本部は、団交の間でも「コロナ対策としての手当を出すべきだ」と主張してきましたが、会社は認めませんでした。

コロナ禍の中でも、会社は臨時列車を除き定期列車は所定に運行してきました。感染リスクに怯えながらも、安全・安定輸送を担ってきたのは、紛れもなく私たち組合員・社員なのです。全社員の皆さん、私たちは仕事をキチッと成し遂げてきたのですから、「生活給」でもあるボーナスを減額しても良いと思いますか？

JR東海労は、ボーナス満額回答を会社に強く求めます。

**JR東海労はコロナ禍を理由に労働者へ
我慢と犠牲を強いる会社を許しません！**